

学会記事

2018年度第6回執行理事会議事録

期 日：2019年1月12日（土） 13:00～17:00
場 所：地質学会事務局

出席者：松田会長 平田副会長 齋藤常務理事 安藤 ウォリス 大藤 緒方 岡田 小宮 磯崎 田村 辻森 西 星 廣木 中澤（事務局） 橋辺

欠席者（委任状提出あり）：佐々木副会長 坂口

*定足数（12、委任状含む）に対し、出席者16名、委任状2名、合計18名の出席。

*11月議事録理事会で確認済、12月執行理事会休会につき議事録なし。

I 審議事項

1. 山田科学財団2019年度助成金への応募（現在1件）について

今回応募申請の1件は学会推薦を承認する。学会推薦枠は3件あるので、追加申請があった場合は、磯崎学術部会長が対応し次回の執行理事会に報告する。

2. 事務局体制について（再検討）

以下の事項について、4/2理事会に諮り承認を受ける。

1) 秋葉事務局長の退職の件 1月8日付で承認（理由：病気治療のため）

2) 橋辺氏とのパート事務局員の雇用契約 2019年1月より6ヶ月

3) 「日本地質学会パート事務局員就業規則」を制定する 2019年1月1日施行

4) 常勤事務局職員の「日本地質学会事務局員就業規則」（平成20年4月改正）の見直しを検討する。

5) 今後の事務局体制について：半年以内に移行できる現実的な体制を構築する。

・澤木、堀内、新規職員3名体制にし、中心者として事務局主任（仮称）をおく。

・事務局長は四役・執行理事の何れかが兼任する。必要な判断に絞って分掌する。

・澤木、堀内事務局職員の仕事の一部を新規職員に引継ぎし、橋辺さんがやってきた会計庶務を澤木さん、堀内さん（片方/両方で分担）が引継ぐ。

・学会の執行体制・委員会組織の検討と平行して事務局の位置づけを再検討する。

6) 新規職員（有期）求人活動について、まずは執行理事会メンバーで適任者を探し、見つからない場合はハローワークを通じて行う。

3. 学術著作権協会より提示された著作権の管理委託、複写と転載の許諾について

複写の許諾についてはこれまでどおりで問題はない。

転載を管理委託した場合には手数料が発生するので、現在無料の当学会の場合には利用しにくくなる。また、転載委託に関しては多分野（特に医学系など）での需要があるとの

見方もあり、当学会が委託する必要性は認められない。

4. メール審議により、各賞選考検討委員会の執行理事会推薦委員（補充）として、執行理事会は齋藤文紀会員を推薦した。

今後の委員推薦については、候補者の研究分野に関わらず対応できるように、募集前に委員の研究分野を考慮して9月を目処に選出しておく。

5. メール審議により、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構からの要請のあった専門委員（国立大学教育研究評価委員会専門委員および機関別認証評価委員会）候補者として5名の会員を推薦した。

II 報告事項

1. 全体的報告

1) 「執行体制（主に委員会などの組織）の見直し検討」継続報告（佐々木資料）

委員会の現状について、次回の執行理事会で具体的な検討をするため未記載欄の情報を担当理事から佐々木副会長に提供をする。

2) 大型研究の提案、ヒアリング等の状況報告（小宮）

今回の連合大会でセッションを開催し、意見聴取（意見投票）を行う予定。

3) 一家に1枚のポスター作成の準備進行状況（辻森）

4月出版に向けて、印刷業者等の選考、決定など具体的な作業が進んでいる。

4) 第7回防災学術連携シンポジウム「平成30年夏に複合的に発生した自然災害と学会調査報告」（3/12、学術会議）に、地質学会として小荒井衛会員に発表を要請し、「地形・地質情報から知る災害リスクー関東東部を事例に」をポスター発表することとなった。

2. 運営財政部会：総務委員会（緒方・西）<共催・後援依頼、他団体の募集等>

1) 日本アイソトープ協会より第56回アイソトープ・放射線研究発表会（7/3～7/5）の一般発表演題募集のポスター掲示と周知の依頼があった。→HP、News1月号、geo-flash1/8に掲載

2) 平成30年度海洋情報部研究成果発表会（1/17）の開催案内があった。→HP、geo-flash1/8に掲載

3) 深田地質研究所より「2019年度深田研究助成」の公募開始の連絡があった。→HP、News、geo-flashに掲載

4) 住友財団より2018年度の基礎科学研究助成と環境研究助成の対象者を決定した旨の連絡があった。→News12月号、geo-flash 12/3に掲載

5) 日刊工業新聞社より地盤技術フォーラム2018（協賛）の終了報告があった。

<会員>

1. 今月の入会者（正会員 3名）

小池 渉 榊田 卓 院割：山本雄大

2. 今月の退会者（賛助会員1社、正会員2名）
賛助会員：関東建設（株）（2018/10関東天然瓦斯開発に吸収合併）

正会員：上ノ山晴貴 谷内勇介

3. 今月の逝去者（名誉会員1名）

杉崎隆一（1/3）

4. 2018年12月末日会員数

賛助：27、名誉：54、正会員：3601（正会員：3417、正（院割）会員：175、正（学部割）会員：9）、合計 3682（昨年比-59）

<会計>

・ウォリス理事からのタイ地質学会への訪問旅費の支給要請について了解した。

3. 広報部会：広報委員会（坂口・小宮）
とくになし

4. 学術研究部会（磯崎・ウォリス・岡田・辻森）

(1) 行事委員会（岡田）

1) 山口大会

・運営委託については、地元業者および委託経験会社からの見積もりを検討中。

2) つくば特別大会（2018/12/01-02）

・参加者 307名（会員262、非会員45）

・発表（シンポジウム含む）：口頭 121件、ポスター 59件、緊急展示 3件

(2) 国際交流委員会（ウォリス）

・タイ地質学会との学術交流協定を進めるため、同学会からの希望もあり、こちらから訪問する予定を検討中。

(3) JIS、標準担当（中澤）

・公示に向けた作業が進んでいる。

5. 編集出版部会（大藤・田村）

(1) 地質学雑誌編集委員会（大藤）

1) 編集状況報告（1月10日現在）

・2018年投稿論文：84編 [内訳] 総説19（和文19）・論説43（和文40・英文3）・ノート3（和文3）・報告9（和文7、英文2）・口絵1（和文1）・巡検案内9

・2019年投稿論文：1編 [内訳] 論説1（英文1）

・査読中：25

・受理済み：27（うち特集号6）

・124巻12月号：125特集号「付加地質」6編+通常号1編（計106頁）12/28発送

・125巻1月号：125特集号「日本における第四紀層序学の高精度化」+通常号1編（計110頁）校正中。

2) 125周年記念特集号状況（2019年1月10日現在）・125-2/3号で完結の予定。

(2) アイランドアーク編集委員会（田村）

1) 出版状況報告

出版実績（Vol. 27, Issues 1-6, Vol. 28, Issue 1; 特集号; ダウンロード数）の報告。

(3) 企画出版委員会（小宮）

とくになし

6. 社会貢献部会（星・廣木・中澤）

・来年の地質の日行事「街中ジオ散歩、羽村」開催に際し、羽村市教育委員会の後援名義使用申請をした。

7. 地質技術者教育委員会

とくになし

8. ジオパーク支援委員会（平田）

・ジオパーク関連の情報提供・交換を行う

- た。
9. 地学オリンピック支援委員会（星）
とくになし
10. 県の石支援委員会（辻森）
とくになし
11. 125実行委員会（佐々木, 代理：緒方）

- ・事業の総括をニュース誌に掲載する。
・学会125年史の記録をアーカイブし、ニュース誌、Website等に保存する。

以上

2019年2月23日

一般社団法人日本地質学会執行理事会
会 長（代表理事）松田博貴
署名人 執行理事 斎藤 真